

審査員特別賞
「地域を耕す」の部

Special Jury Prize

社会福祉法人青葉仁会 あおはにファーム (奈良県奈良市)

受賞理由 地域密着型ノウフク

農業だけでなく食品加工、レストランや直売所にまで障害者の活躍の場を広げています。急速に耕作放棄地が拡大する中、地元農家の指導のもとハーブ栽培などに取り組み、持続可能な地域づくりを進めています。



概要 農産物・加工品は直轄のカフェへ全国へ

2019年4月に農福連携を通して地域の再生を図るべく、あおはにファームをつくり、8畝の耕作を始めました。50人の障害者がブルーベリー2,000本の栽培管理・運営を担っています。地域の耕作放棄地では米や30種類超の野菜、果樹を

栽培しています。県内で受け継がれてきた大和当帰、大和橘を含みます。農産物は法人内6カ所のカフェ・レストランの食材として提供されるほか、企業からの受託製造もする加工部門で多岐に活用され、全国のスーパーや物産展へ出荷されます。どの事業所も主力は障害者です。



成果 農家生活体験など事業を多方面へ広げる

<農林水産業>

・通年で農作物を栽培することで、農作業を安定確保し、農産物を毎日出荷しています。

<障害者等>

・人力でできることと、機械が必要なことなどを細かく分け、それぞれの個性に合わせて割り当てています。
・支援学校等を卒業する障害者を受け入れられるよう、毎年事業を拡大しています。

<地域>

・農業の衰退・高齢化の進む中山間地域で、レストランやマルシェ、商業施設「満天ひろば」を開いています。
・農家生活体験を提供するなど観光振興にも努め、地域全体では年間7万人が訪れるまでに。
・農業を着実にやり、地域住民との信頼関係ができた結果、地元の高齢農家から農地借用や購入の依頼が多く寄せられています。持続可能な共生社会を目指しています。